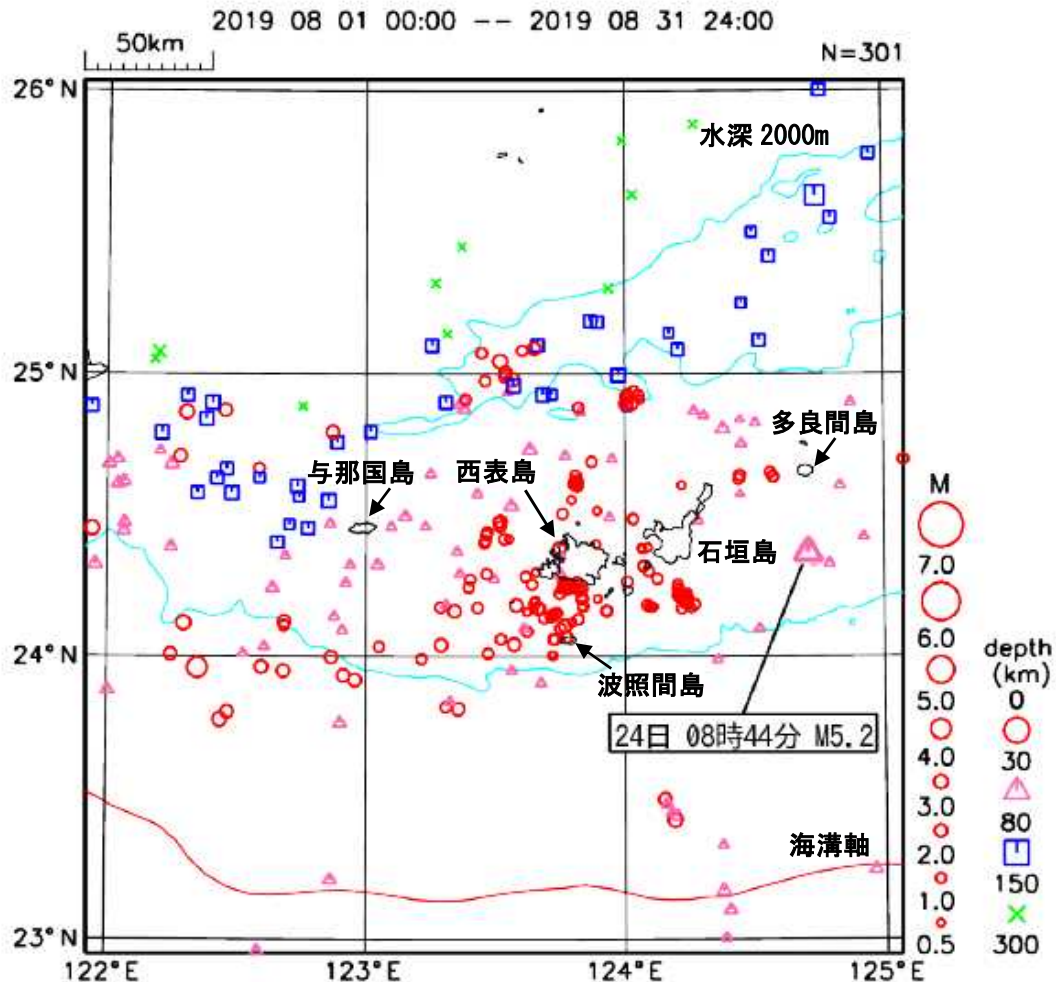


八重山地方の地震活動

令和元年(2019年)8月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

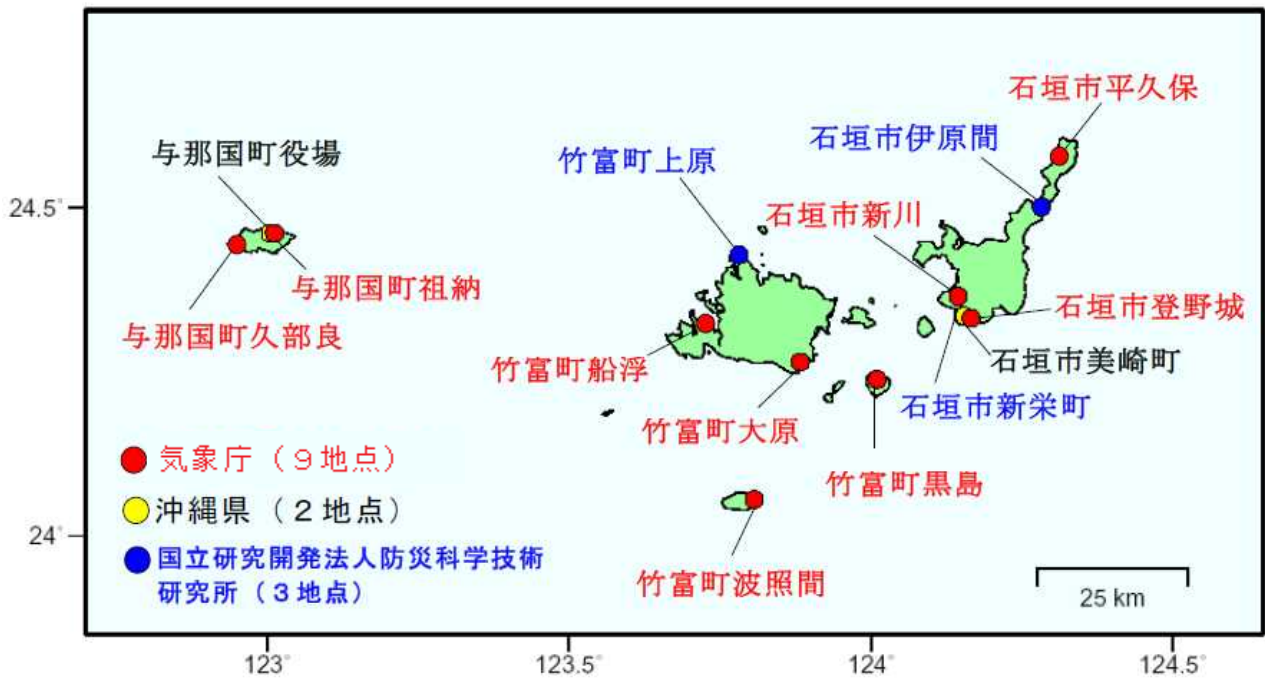
【概況】

今期間、八重山地方で301回(7月352回)の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は2回(7月3回)でした。

8日06時28分に台湾付近(与那国島の西約120km、震央分布図範囲外)で発生した地震(M6.4)により、与那国町で最大震度2を観測したほか、石垣島、黒島、西表島、波照間島で震度1を観測しました(地震活動の詳細は別紙1参照)。

24日08時44分に石垣島近海(石垣島の東約60km)で発生した地震(M5.2)により、宮古島市及び多良間村で最大震度3を観測したほか、石垣島、黒島、西表島で震度2~1を観測しました(地震活動の詳細は別紙2参照)。宮古島地方で震度3以上を観測したのは、2017年6月30日に宮古島北西沖で発生したM5.2の地震(最大震度3)以来です。

八重山地方の震度観測地点



過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます
URL <https://www.jma-net.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>
本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

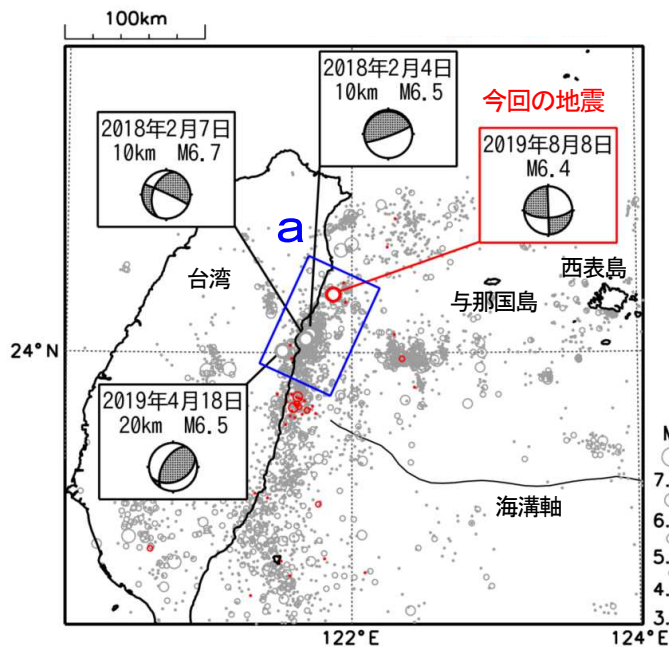
8月8日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2019年8月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)

2019年8月以降の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解

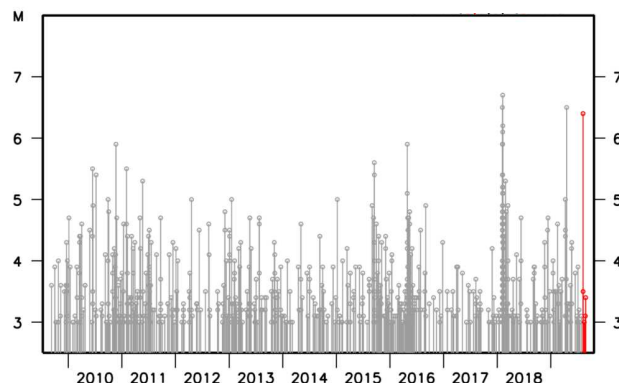


2019年8月8日06時28分に台湾付近でM6.4の地震（日本国内で最大震度2）が発生しました。

この地震の発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型でした。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、最近では2019年4月18日の地震（M6.5）により日本国内で最大震度2を観測しています。

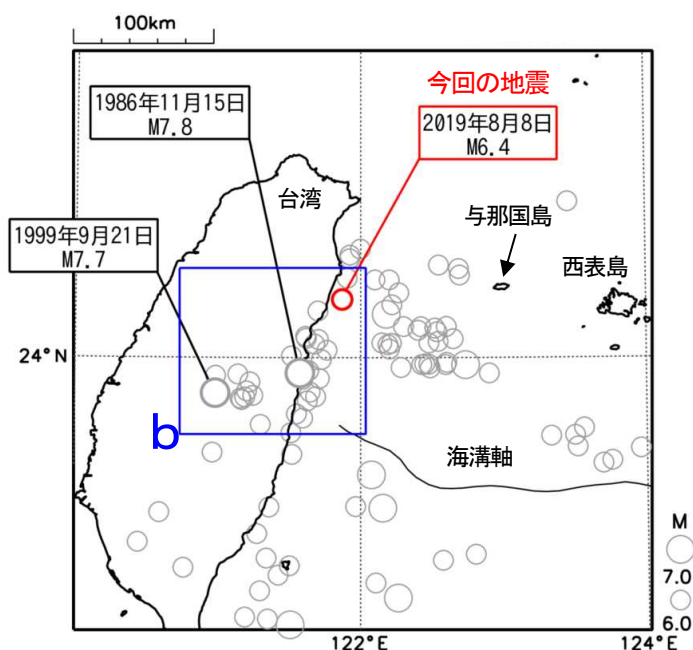
領域a内の地震活動経過図



震央分布図

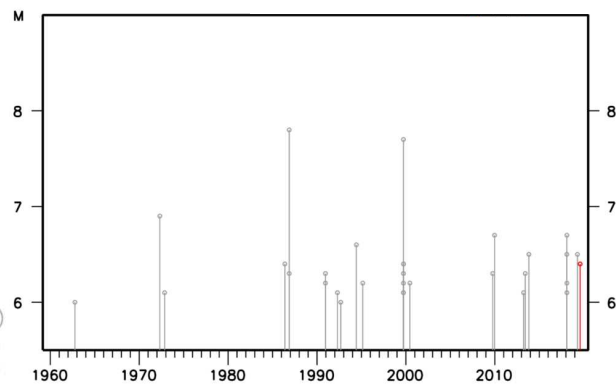
(1960年1月1日～2019年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2019年8月以降の地震を赤く表示



1960年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生し、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害がありました。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害がありました（被害は、宇津の「世界被害地震の表」による）。

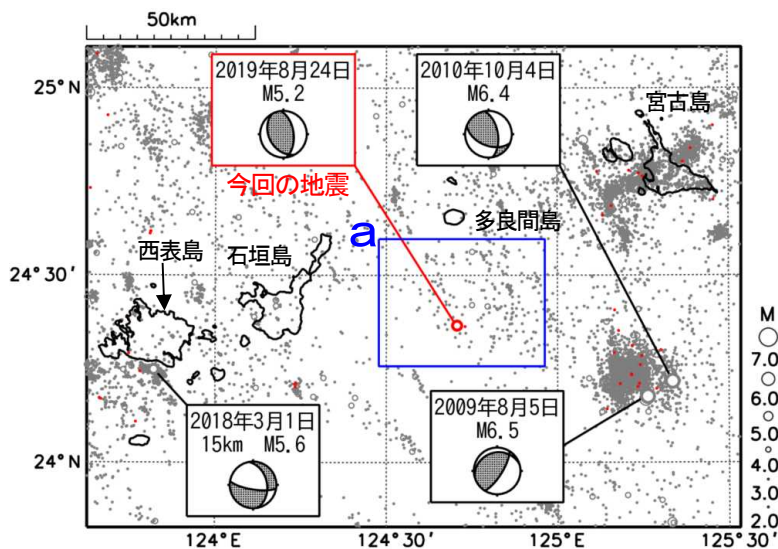
領域b内の地震活動経過図



(この期間は検知能力が低い)

8月24日 石垣島近海の地震

震央分布図
 (2000年7月1日~2019年8月31日、
 深さ0~100km、 $M \geq 2.0$)
 2019年8月以降の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解

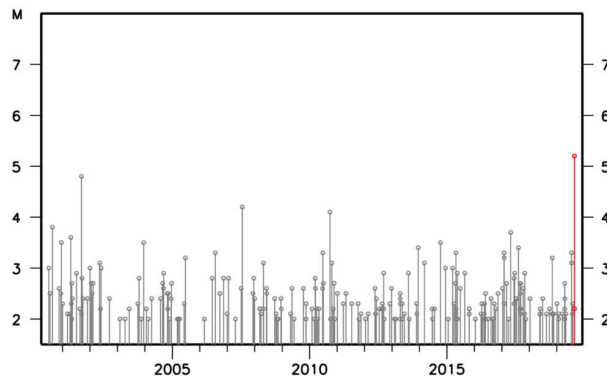


2019年8月24日08時44分に石垣島近海でM5.2の地震(最大震度3)が発生しました。

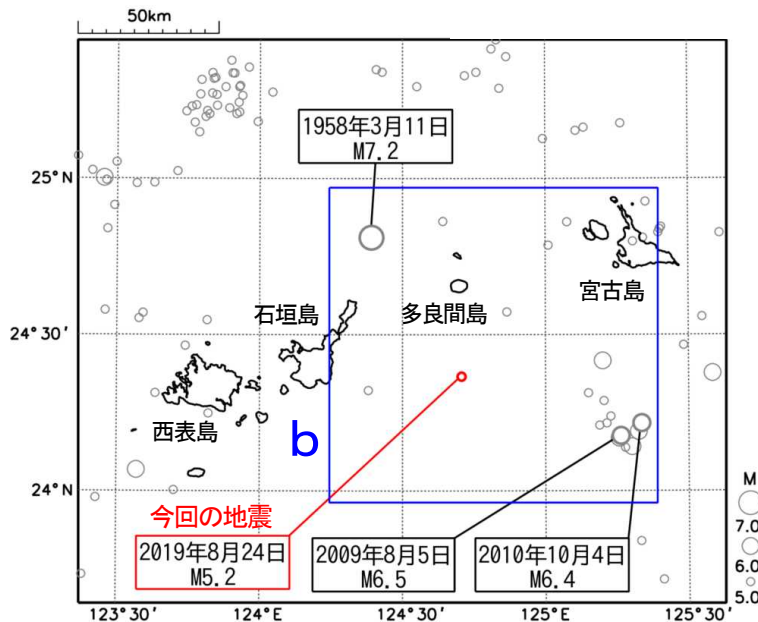
この地震の発震機構(CMT解)は、東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型でした。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震央付近(領域a)ではM4.0以上の地震が時々発生していますが、M5.0以上の地震は今回が初めてでした。

領域a内のM-T地震活動経過図

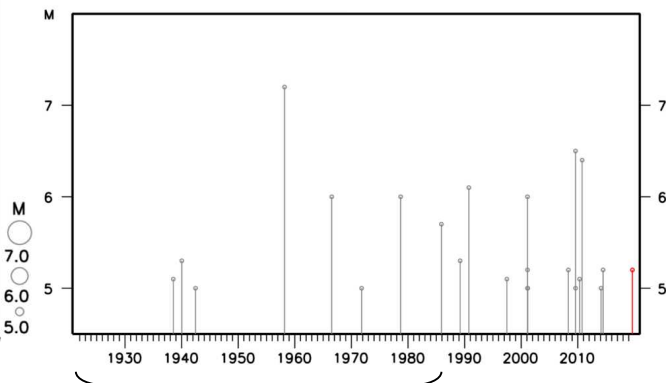


震央分布図
 (1922年1月1日~2019年8月31日、
 深さ0~100km、 $M \geq 5.0$)
 2019年8月以降の地震を赤く表示



1922年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1958年3月11日にM7.2の地震(最大震度5)が発生し、死者2人、負傷者4人の被害がありました(被害は、「日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図



(この期間は検知能力が低い)